

ときめき人

Tokimeki bito



頂点への挑戦 世界を見据える プロキックボクサー

米山町・森腰

阿部 マリアさん

あべ まりあ
2005年生まれ 血液型/A型

Profile

米山中在学時は柔道部に所属。目標は世界チャンピオンの田中藍選手。好きな時間は、自宅でリラックスしながら漫画を読んでいるとき。



プロデビュー戦に向け、練習に励む阿部さん

「高校生のうちに日本チャンピオンになることが今の目標。いずれは世界に挑戦していきたい」と力強く話すのは、11月14日、アズテックミュージアム(仙台市太白区)でのプロデビュー戦を控えるキックボクサーの阿部さん。

幼いころから、父・阿部義幸さんが代表を務めるキックボクシングジム「PCK大崎」で、大人たちがトレーニングに励む姿を目にしてきた。生活の中にキックボクシングがあることが当たり前だった環境の中で、自身も小学5年から本格的にトレーニングを始める。

全国屈指の実力者がそろうジムでの練習は厳しく、足の指を骨折することもあった。「大会直前の練習は特に厳しく、つらくて何度も泣いた」とこれ

までを振り返ったが、自ら「負けず嫌いな性格」と話す通り、壁に当たるたび、気持ちの強さで乗り越えてきた。

体の柔らかさを生かした顔面への前蹴りを得意技にして、中学1年のときにアマチュアで二階級を制覇。アマチュアでは通算40試合の実戦を積んだ。数々の実戦経験を経て、16歳を迎える今年、プロテストを受験。見事に合格し、プロへの道歩みだした。

「デビュー戦は緊張するが、ただ勝つだけではなく、観客の印象に残るような魅せる試合をしたい」と、結果だけでなく内容にもこだわりを見せる。

登米の地から世界へ。真つすぐに見据えた頂点へ向かい、一気に階段を駆け上がる。

編集後記

▼サケのふ化・放流の取り組みを取材。採捕者たちは10センチもある網を巧みに操りサケを捕らえます。何匹も網に入ると重くて一人では引き上げられないため、お互いがあうんの呼吸で補助し合うそうです。広報とめめ、採捕者に負けないチームワークで作成していきたいと思えます。(佐々木)

▼5月から放送が開始されていたおかえりモネも最終盤に差し掛かりました。放送終了を寂しく感じながらも、10月までだった「モネ展」の開催期間が延長されました。放送は終わっても、ドラマをきっかけに登米市へ興味を持った人々とのつながりを大切にしていきたいと思えます。(三浦)

▼中総体新人戦を取材。制限の中、応援者がいる光景が久しぶりに見れた試合会場。大会まで選手の皆さんは真摯に練習し、関係者も同様、複雑な心境や環境で過ごした日々だったと思います。行動変容を経て、健康管理と運動の関係を学んだ発表の場でした。(高橋)



登米市公式ホームページ

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴うイベント中止などの情報は公式ホームページでお知らせしています。) <https://www.city.tomiyagi.jp/>



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。) <https://mail.cous.jp/tomecity/>